

団体フィードバックと全体シェアリング

全ての居場所を見学したあとは、市民活動支援センターに集合し、参加者全体で感想の共有と、団体への感謝の想いを伝えるためのフィードバックメッセージの作成を行いました。

それぞれのグループがグループ毎の方法で伝え方を検討し、形にしました。子育てに関わるグループは、各団体への感謝状と見学を通じて得た気づきを集めたメッセージカード。青少年に関わるグループは、メッセージと写真を組み合わせたフォトブック。多世代に関わるグループは、りんごのメッセージツリーを製作しました。



参加者からの感想コメント

全体として、振り返りの時間を持ちたり、訪問先へのメッセージを書くなど、単に訪問して終わりではなく、お互いが交流し縁をつくっていくという意図がありました。地域への愛着も高まったと感じています。

POSTOさんに関しては何でもやりたいことやろうよ！というポジティブな発想やマインドが凄い気に入りました。個人的に通いたいと思っております！他のグループの人と交流するお時間も時間内にあるとより、よかったかなとも思いました！

多世代交流の新しい場所を見学できて、その運営内容、空間を経験でき楽しかったです。グループでの自己紹介も和気あいあいとでき、その後の行動がほんわかとした雰囲気となれました。他グループの見学内容と感想が聞けたのも良かったです。特にCAPSの施設の活用には羨ましさを感じました。



えんがわフェスタ その後・新たな出会いがありました

地域で何かできる事がないかと考えていた時に、「えんがわフェスタ」の開催を知りました。見学した場所は「お客様」と「運営者」の立場ではなく、地域の“みんな”で作り上げている場所ばかりで感動しました。市民活動支援センターも、今まで関わりのない場所でしたが、お話しすると皆様優しく、積極的なサポートをいただいています。これからも調布のまちに何か還元できるよう、チャレンジしていきたいと思えます！



えんがわフェスタに参加して、調布市内には多様な人に寄り添う素敵な「居場所」があることを知りました。また、「居場所」は利用する人だけでなく、運営する人の「居場所」になっており、それは場所を問わず、人のつながりにより形成されるものだと感じました。今回の参加をご縁にフードパントリーのボランティア活動に参加し、「人とつながり、まちを元気にする」という私の活動の後押しをしてもらった機会となりました。



私はフェスタをきっかけに、自分のスキルや興味を活かせる場を探し始めました。センターの方は快く相談に乗ってくださり、今は実際に地域で活動しています。「自主的に、無理のない活動で人とつながる」ことは気持ちがよく、また、「小さな実績」を積むよいチャンスにもなっています。私は今30代ですが、キャリアの種まきや自己受容感の向上といった視点でも地域活動を見るようになり、以前とは印象が変わったと感じています。



えんがわフェスタ2023は今秋に開催予定です。

開催情報は、市民活動支援センターホームページ、Twitter等でお知らせします。

楽しみにお待ちください！

調布市市民活動支援センター ☎042-443-1220